

有限
会社 **中央電機商会** 環境活動レポート

————— 2006 年度版 —————

(2006 年 3 月 1 日から 2007 年 2 月 28 日)

■ 環境理念と環境方針

有限会社中央電機商会は、環境保全が永続的に取り組むべき経営課題と認識し、下記の環境理念および環境方針を制定いたします。

■ 環境理念 ■

私たち有限会社中央電機商会は、社員1人ひとりがそれぞれの職場において、提供するサービス、販売する商品、および購入する資材など、常に環境を優先的に意識した業務を行うよう努めます。

■ 環境方針 ■

1. 法規制の遵守

環境汚染を防止する法規制を遵守するとともに、環境負荷を削減するための自主目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行います。

2. 環境負荷の削減

サービス・販売・営業など、当社の事業活動の全ての場面において、エネルギーの消費を少なくするとともに、廃棄物を極力抑え、または廃棄物の適正処理を行い、環境負荷の削減を推進します。

3. グリーン購入の推進

資材、機器、備品および用品などのグリーン購入を推進します。

4. 社会貢献

環境保全活動について行政、地域との積極的な情報交換、情報開示を行い、社会貢献に努めます。

5. 環境管理体制の確立

社内における環境管理体制を整備し、環境保全に対するチェック体制を確立します。

2004年2月1日

有限会社中央電機商会
代表取締役社長 高浦孝好

■ 実績及び現状

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量および、水使用量及び排出量の現状

当社が先に掲げた2006年度削減目標値に対して、2006年度の実績排出量を比較いたします。

「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」及び、「水使用量及び排出量」の実績は下記の通りです。

| | 2006年度実績 | | | | | 2006年度目標(対前年2%改善) | | |
|-----------------------------------|----------|----------|----------|----------|-----------|-------------------|-------|----|
| | 前橋 | 伊勢崎 | 渋川 | 上武 | 全社 | 全社 | 対実績比 | 評価 |
| 二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) | 69,957.8 | 35,817.1 | 19,391.1 | 18,779.2 | 143,945.2 | 104,732.0 | 33%削減 | ○ |
| 社有車燃費 (km/L) ※1 | 12.4 | 10.8 | 8.3 | 9.3 | 10.2 | 10.1 | 1%向上 | △ |
| 廃棄物排出量 (トン) ※2 | 39.015 | 4.8 | 0 | 0 | 43.8 | 43.8 | 11%削減 | ○ |
| 水使用量及び 排出量(m ³) | 372 | 262 | 608 | 117 | 1,359.0 | 385.0 | 3%削減 | ○ |

※1 ガソリン車・軽油車の平均値

※2 廃棄物回収は、一部前橋に集約

*達成率は水使用量以外は、前橋に集約したものととして全社数量と比較しています。

2006年度の年当初は前橋本社のみが認証取得対象であったため、各営業所の集計は前橋本社へ一括集約したものとして計上しているため、営業所単位での目標値の設定はしていません。2006年の実績は、CO₂排出量、社有車燃費、廃棄物排出量においては、目標の2%改善を達成することが出来ました。なお、CO₂排出量は産業廃棄物の熱回収計上部分が再生利用へと計上されたため、CO₂排出量が大幅に修正されております。次年度以降は、産業廃棄物の修理方法を明確にし、CO₂排出量の適正な把握に努めます。2007年度は、伊勢崎営業所の大型看板の改修を行い、照明効率の改善を図ります。また過去2年に渡り社有車の低排気量化に取り組みながらも、改善率1%となってしまった点については、削減率の『頭打ち』にとらえ、来年度以降はこの水準を確保することと致します。

水使用量については目標の2%改善（達成率102%以上）を達成し、環境対策に一定の成果があったものと評価できます。なお、特記事項として渋川営業所における水使用量の異常（他の営業所の水使用量に比して異常値を示している）については、EA21全社認証所得後の数値管理により異常値に気付き、配管からの水漏れがあることを発見しました。直ちに漏水対策を施し、次年度以降は適正な使用量の管理に努めるとともに、管理体制の確立が本件の是正措置に至った点は評価できます。

■ 今年度以降の目標

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量および、水使用量及び排出量の削減

「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」及び、「水使用量及び排出量」を、2007年度までは引き続き前年度比で2%以上低減させることを目標とします。社有車の燃費効率化については、過去2年にわたり取り組んだ成果に対して現状維持を目標とします。また社有車の低排気量化の取組みについては、設備投資面は一旦完了したものとして、2007年度はエコドライブ実践に向けたソフト面の強化を推進します。

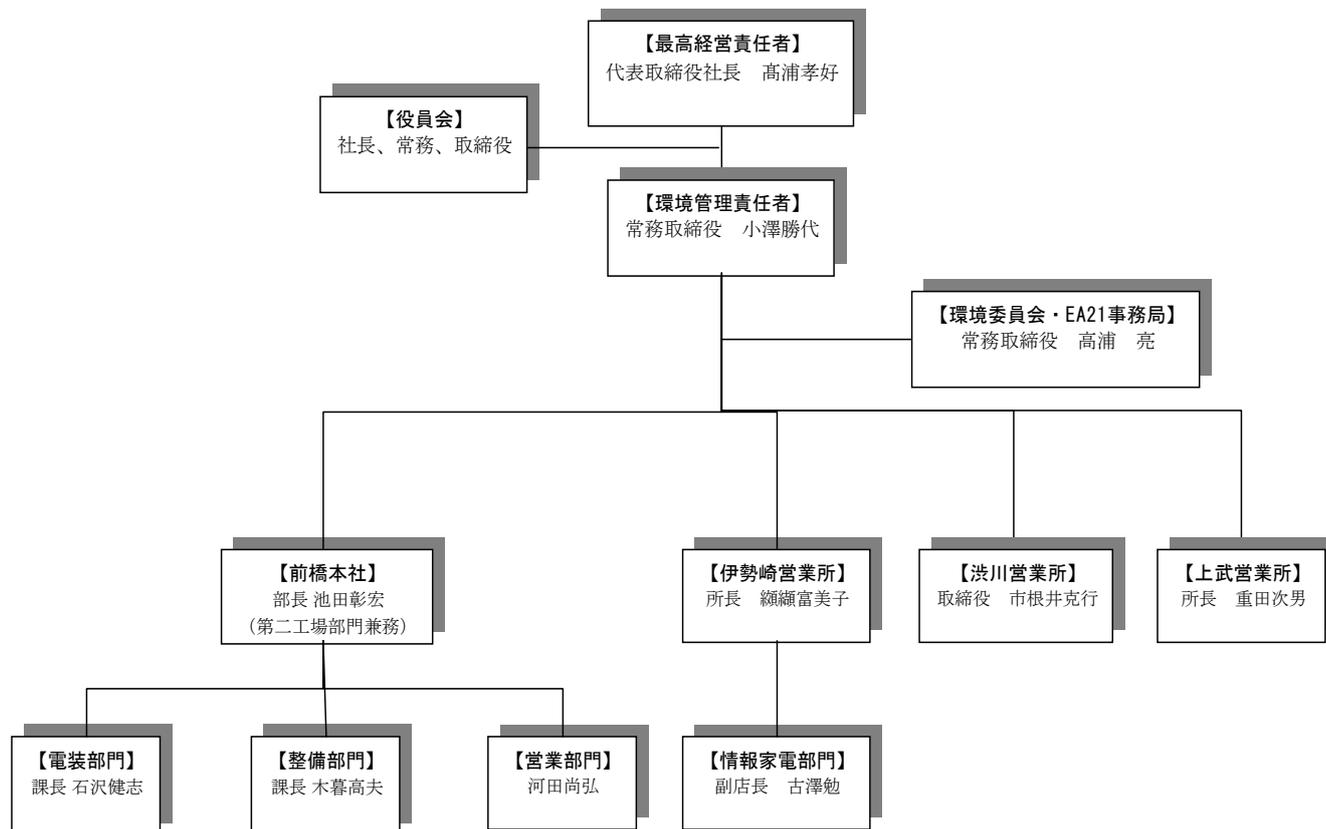
また、廃棄物については分別をさらに細分化することにより、再生可能な資源の分別を行ないます。

| | 2006年度実績 | | | | | 2007年度目標 | | | | | |
|----------------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------|
| | 前橋 | 伊勢崎 | 渋川 | 上武 | 全社 | 前橋 | 伊勢崎 | 渋川 | 上武 | 全社 | 対実績比 |
| 二酸化炭素排出量 | 69,957.8 | 35,817.1 | 19,391.1 | 18,779.2 | 143,945.2 | 68,558.6 | 35,100.7 | 19,003.3 | 18,403.7 | 141,066.3 | 2%削減 |
| 社有車燃費(km/L) ※1 | 12.4 | 10.8 | 8.3 | 9.3 | 10.2 | 12.4 | 10.8 | 8.3 | 9.3 | 10.2 | 0%維持 |
| 廃棄物排出量(トン) ※2 | 39.015 | 4.8 | 0 | 0 | 43.8 | 38.2 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | 42.9 | 2%削減 |
| 水使用量及び排出量(m3) | 372 | 262 | 608 | 117 | 1,359.0 | 364.6 | 256.8 | 595.8 | 114.7 | 1,331.8 | 2%削減 |

※1 ガソリン車・軽油車の平均値

※2 廃棄物回収は、一部前橋に集約

■ 環境推進体制（組織図）



■ 主要な活動計画の内容

| 大項目 | 小項目 | 2006年 | | | | | | | | | | 2007年 | |
|-------------------------|--|--|----|----|----|----|--|----|-----|-----|-----|-------|----|
| | | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| | | 上 期 | | | | | 下 期 | | | | | | |
| 二酸化炭素排出量 (省エネに関する取組) | 昼休み消灯の徹底(工場・事務所) | → | | | | | | | | | | | |
| | 冷暖房の温度管理 | → | | | → | | | → | | | | | → |
| | 社内照明を少燃費型蛍光灯に交換 | → | | | | | | | | | | | |
| | ガソリン・軽油の削減(アイドリングストップ等) | → | | | | | | | | | | | |
| 廃棄物排出量 (リサイクルに関する取組) | 廃棄物分類の徹底 | → | | | | | | | | | | | |
| | 再生紙への切り替え、リサイクルトナーの使用 | → | | | | | | | | | | | |
| | 自動車修理時のリサイクルパーツ使用 | → | | | | | | | | | | | |
| 水使用量及び排出量の削減 | 洗車場における節水 | → | | | | | | | | | | | |
| | 洗い場、トイレにおける節水 | → | | | | | | | | | | | |
| 公害防止への取組 | フロンガスの的確な取扱い | → | | | | | | | | | | | |
| | バッテリーの的確な取扱い | → | | | | | | | | | | | |
| | オイル類の的確な取扱い | → | | | | | | | | | | | |
| その他の取組 | グリーン購入への取組 | → | | | | | | | | | | | |
| | 地域・社会貢献活動の推進 | | | | | | → | | | | | | |
| | 環境関連商品の積極販売 | → | | | | | | | | | | | |
| 活動実績報告 | 【2006年度総括】 2005年より注力しているデジタルタコグラフの販売数量が、本年度は対前年比200%となり 環境配慮型経営が実質的な経営改善につながる大きな成果を上げた1年といえる。また対外的にも環境配慮型経営の普及活動にも力点を置き、自社での講習会実施や、EA21クラブでの活動報告を行なった。 | 【上期の取組と反省】 社内における少燃費製品への設備投資(軽自動車・ライオ兄弟)や、全社EA21認証所得に向けた対内的な施策に傾注した。社内の環境管理体制にはまだまだ不備な点が多く、今後の課題を顕在化できた。 | | | | | 【下期の取組と反省】 国交省によるEMS普及事業において、国内8事業所、300台弱の車両にデジタルタコグラフを搭載し、経済運転実践の普及活動を行った。通年では525台の販売実績を残した。次年度に向け、ダンボールの分別回収準備に着手した。 | | | | | | |

■ 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連事項について、違反または関係機関、ステークホルダーからの指摘はありませんでした。また、近隣住民からの苦情及び訴訟等もありませんでした。

■ 事業の概要

(1) 事業者名および代表者名

有限会社中央電機商会

代表取締役社長 高浦孝好

(2) 所在地（本社）

群馬県前橋市石倉町5丁目14-14

(3) 環境保全関係の責任者および連絡先

責任者（事務局長）：常務取締役 高浦 亮 環境管理責任者：常務取締役 小澤 勝代

連絡先 TEL：027-251-7151 FAX：027-252-2222

(4) 事業の内容

自動車電装品整備業、自動車一般整備業、情報家電機器小売業

(5) 従業員数

全 社 56名（内役員 4名 2007年2月現在）

以上